

競 技 注 意 事 項

- 1 本記録会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本記録会の競技注意事項により実施する。
- 2 点呼(100m ゴール後方)は、プログラムに記載された招集開始時刻までに張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○印を付け、トラック競技出場者は各自で腰ナンバーを取ること。招集完了時刻までにトラック競技出場者はスタート地点、フィールド競技出場者は競技場所に集合し、審判員のチェックを受けること。招集開始時刻までに○印がない場合や招集完了時刻を過ぎても本人がスタート地点・競技場所にいない場合は棄権とみなし処理をする。
- 3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- 4 同時に2種目以上の競技に出場する選手は、その旨を必ず競技者係に申し出ること。
(トラック競技を優先とする)
- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。
- 6 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。
【共通男子】 練習 1m70 競技 1m80～2m80 までは 20 cm 上がり 以降 10 cm 上がり
【共通女子】 練習 1m50 競技 1m60～2m20 までは 20 cm 上がり 以降 10 cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 7 三段跳の踏切板は、砂場から男子は9Mと11M・女子は9Mする。
- 8 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
【共通男子】 練習 1m20 競技 1m25～1m80 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通女子】 練習 1m10 競技 1m15～1m45 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 9 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。
- 10 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは9mm以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は12mm以下とする。

11 その他

※ 砲丸の重さ

区分	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg